

人の作業を科学的に捉え、
多職種と連携して
的確な支援を行える作業療法士を育成します



保健福祉学部 保健福祉学科
作業療法学コース

intro

作業療法の仕事



Occupational Therapists

作業療法士は、心や体の障害がある人、予想される人に対して、対象者にとって意味や価値のある**作業**を通じて、**健康と幸福**を促進する専門職です。



作業療法士として働くには、作業療法士養成校を卒業し、**作業療法士国家資格**の取得が必要です。



日本では、医療、福祉、介護、教育、司法など幅広い分野で働いており、社会から**活躍**が期待されています。



世界中で作業療法士が活躍しており、日本の作業療法士数は約9万5000人で、アメリカに次いで**第2位**です。



オックスフォード大学のオズボーン教授の研究では、コンピューターやロボットに代替されない職業の上位6位に作業療法士が位置付けられており、今後ますます**注目**されていくと考えられます。

作業療法をもっと知りたい人は見てみましょう。

日本作業療法士協会 HP
(<https://www.jaot.or.jp/>)



世界作業療法士連盟
(<https://www.wfot.org/>)



Listen

けんひろの魅力



けんひろの作業療法学コースで作業療法士を目指そう！

けんひろの6つの魅力

Point 01

世界作業療法士連盟認定校で高度な学習

Point 02

多様な教員による手厚い教育と研究指導

Point 03

学生・教員らの繋がりが強く親睦が深い

Point 04

学習やサークルなど学生生活が充実

Point 05

高い就職率と国家試験合格率とその支援

Point 06

卒業後もキャリア形成を応援



作業療法学コースの最新情報はこちら

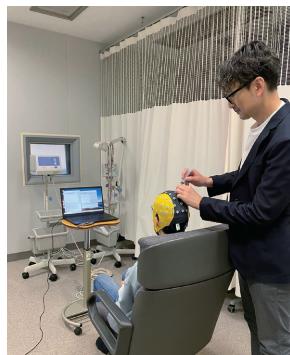


Point 01 WFOT認定校での高度な人材育成

世界作業療法士連盟（WFOT : World Federation of Occupational Therapists）とは、作業療法士の国際的組織団体です。作業療法教育の世界水準を設定し、世界の作業療法士らとともに実践や研究の発展や促進を目指しています。WFOT認定校になるには、厚生労働省の定めた教育基準を超えるカリキュラム等が必須であり、厳しい基準をクリアすることが求められます。

けんひろの作業療法学コースは、WFOT認定校であり、世界水準の教育と研究により、国際的に活躍できる高度な作業療法士の育成を目指しています。

海外研修への参加、スコットランドのクイーン・マーガレット大学の学生とのメール交換、オンライン研修受講による国際資格の取得など、在学中から積極的に国際交流します。



最新機器を使用した研究指導、また実習先の施設等から作業療法士を講師として招き、装具の製作や木工の実習等に取り組み、より臨床現場に近いリアルな授業を展開しています。

Example of Curriculum

豊かな教養と多職連携の概観を含む専門領域の基礎を習得する

専門領域に必要な知識を修得し、専門性や多職種連携の実際を知る

専門領域の学びを深め、専門職として必要な主体性や探究心を培う

臨床・実践教育にさらに取り組み、専門職としての実践力を養う



作業療法学概論
作業科学・作業科学実習
大学基礎セミナー
解剖学概論・生理学概論
人間発達学 など

作業療法評価学Ⅰ・Ⅱ
解剖学実習・運動学・運動学実習
地域包括ケアシステム論
精神医学・整形外科学
福祉支援工学 など



身体障害治療学
精神障害治療学
老年期障害治療学
発達障害治療学
地域作業療法学
作業療法研究法 など



チーム医療福祉論演習
作業療法総合演習
クリニックリーズニング など



Point 02 手厚い教育と研究指導

作業療法学コースには、様々な専門分野の教員が所属しています。最新の知識及び技術を有したエキスパート教員が、将来リーダーとして活躍できる人材の育成を目指して、学生ときめ細やかに関わりながら**アクティブラーニング(主体的な学び)**を推進しています。作業療法学コースでは**高度で幅広い卒業研究**ができます。作業療法学、医学、工学など、作業療法士のみならず医師教員による少人数制の卒業研究指導が3年次前期から始まります。興味のある分野について、学生自身が更に探求心を深め、自ら課題を見つけ解決していく過程を経験し、研究力を身につけていきます。

作業療法学コース 教員紹介



古山 千佳子 教授

研究キーワード

学校作業療法、子ども支援



西田 征治 教授

研究キーワード

認知症、家族支援、身体老年期障害



久野 真矢 教授

研究キーワード

QOL、高齢者、認知機能障害



藤巻 康一郎 教授

研究キーワード

精神医学、認知機能、ストレス



森 大志 教授

研究キーワード

脳神経科学、リハビリテーション医学



吉川 ひろみ 教授

研究キーワード

作業科学、作業療法理論、ヘルスケア倫理



織田 靖史 准教授

研究キーワード

メンタルヘルス
スポーツ、自殺自傷、
就労、マインドフルネス



高木 雅之 准教授

研究キーワード

作業科学、記録
生きがい、対話



助川 文子 准教授

研究キーワード

発達障害、就労、
特別支援教育



池内 克馬 助教

研究キーワード

がん、脳卒中、
地域、目標



今元 佑輔 助教

研究キーワード

精神科個別プログラム、
依存症



坂本 千晶 助教

研究キーワード

認知症、
活動、退院支援



増田 久美子 助教

研究キーワード

小児、
発達症、家族支援



Point 03 学生・教員の親睦が深い



けんひろの作業療法学コースは、同学年のみならず、他学年・他コース・教員らとも仲が良く、他学年との交流会や情報交換の機会が充実しています。

1学年が約30人に対してチューター2名がつき、定期的にホームルームや面談をします。また、コース所属教員で協力して、学生のサポートをします。

チーム医療福祉論・演習、大学基礎セミナーなど様々な授業においても、1年次から4年次まで他コースと協働した学びが充実しています。また学生と教員が同じ目線に立ち、ディスカッションを通して互いを高め合います。

Point 04 実習・サークルが充実

作業療法学コースでは、1年次から4年次まで毎年臨床実習に行きます。また大学附属診療センターを活用した実習もあります。実際の作業療法を体感することを通して、学びや作業療法士を目指す意欲の向上を期待しています。

また本コースの専門科目では、フィールドワークや演習を通じた地域資源を活用した課題解決学修に力を入れています。就労支援施設、放課後児童クラブ、特別支援学校など地域に出向き、作業療法を展開する授業もあります。

けんひろには、アダプティッドスポーツクラブ、バスケットボールサークル、バレーサークル、ダンスサークルなどの運動系クラブと、ボランティア部、華道サークル、カメラ・映像サークル、吹奏楽サークルなどの文化系クラブ等、サークルが充実しており、交流を深めています。



在学生の声

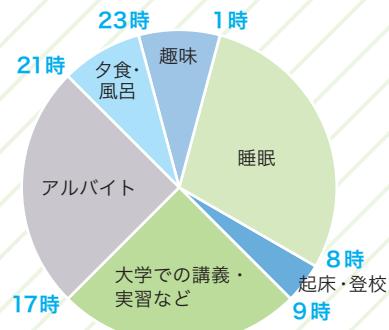


清水 真琴さん
保健福祉学部
作業療法学コース4年
(広島県呉市立呉高校卒業)

私の学生生活は「楽しい！」の一言に尽きます！サークルや学園祭など自分たちで企画して行うイベントが様々で、仲の良い友人がたくさんできました。作業療法学コースは演習や実習が多く、実際の体験を通して生きた知識や充実した学びを得ることができます。勉強は大変ですが、友人と共に乗り切るのも楽しみの一つです。県立広島大学作業療法学コースでの学生生活にとても満足しています！

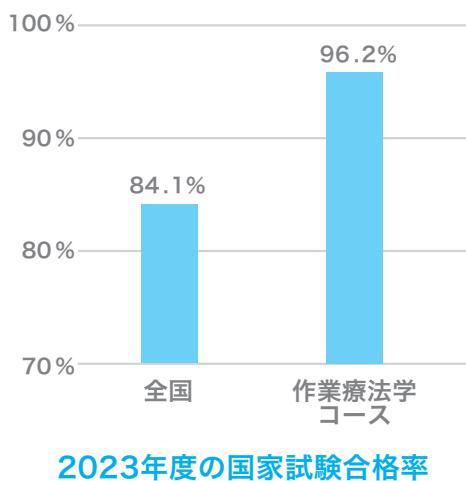


私の1day Schedule



Point 05 高い就職率と国家試験合格率

作業療法学コースの作業療法士国家試験の**2023年度合格率は96.2%**であり、全国平均合格率84.1%を上回っています。国家試験学習に特化した講義を実施し、これまでに培ってきた合格のノウハウを伝授するとともに、必要に応じて個別支援を行うなど、作業療法学コース一丸になって取り組みます。



就職率は例年100%を維持しています。毎年、全国の幅広い分野から求人がきており、殆どの学生が希望する施設へ就職をしています。

大学院への進学・留学、一般企業への就職など、卒業時には多様な選択肢があります。

過去の主な就職先の例

独立行政法人国立病院機構 中国四国グループ	産業医科大学病院
広島大学病院	島根大学医学部附属病院
県立広島病院	兵庫医科大学病院
広島県立障害者療育支援センター わかば療育園	神戸市立医療センター 中央市民病院
広島市立リハビリテーション病院	岩国市医療センター 医師会病院
公立みつぎ総合病院	西広島リハビリテーション病院
JA広島総合病院	五日市記念病院
日本赤十字社 庄原赤十字病院	三原病院
日本鋼管福山病院	福山リハビリテーション病院
岡山県精神科医療センター	社会福祉法人 柏学園
社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター	社会福祉法人つづじ 児童発達支援センター ぐるんぱ

Point 06 卒業後もキャリア形成を応援

卒業後も、必要に応じたサポートを継続しています。作業療法学コースは、卒後研修会兼同窓会「**いずみの会**」があり、定期的に教員による講演会、意見交換会、ゲームをして卒業生同士や恩師と交流をしています。卒業生は卒業時に加入し、けんひろ教員も参加します。卒業生と共に学び続け、苦楽を共にした仲間と支え合う仕組みがあります。コロナ禍もオンラインを駆使し、卒業生が全国から**集結**し、楽しく充実した時間を過ごしました。

また卒業後もけんひろに遊びに来てくれる卒業生が多数おり、悩みを教員に相談したり、いつでも帰ってきやすい**居場所**になっています。



私は急性期病院で入院中の患者さんのリハビリテーションに携わっています。病気になってすぐで、初めて作業療法を経験する方も多いので「作業療法の入り口」として何をするかはとても重要です。このように考えられるのは県立広島大学の学生時代に、クライエント中心の作業療法を学んだからだと考えています。いずみの会や各県の研修会・学会で、旧友と顔を合わせるといつでも学生時代に戻り、実家に帰ってきたような安心感に包まれます。これから出会う生涯の仲間たち、とても親身になってくれる先生方、自然たくさんある三原市が、皆さんをお待ちしていますよ！

辻野 千尋さん

2017年度卒業
産業医科大学病院
リハビリテーション部 作業療法士

policy



作業療法学コースの人材育成目標

保健福祉学部保健福祉学科の人材像を踏まえ、作業療法士として、次の資質を有し、リーダーとして活躍する意欲を持った人材を育成します。

- 1 人-作業-環境の関係および作業と健康、幸福、人権との関係に関する専門的知識
- 2 地域包括ケアシステムの中で対象者中心の作業療法プロセスを実践できる知識と技術
- 3 作業療法領域に必要な高い倫理観と豊かな人間性
- 4 作業療法のリーズニングおよび理論に基づく実践力および論理的思考力と客観的判断力
- 5 最良の作業療法実践を保障するエビデンスを活用し、作業療法士として自己研鑽し続ける意欲と行動力
- 6 作業療法の対象者および関係者と効果的に協働できるコミュニケーション能力

作業療法学コースのアドミッション・ポリシー

保健福祉学部保健福祉学科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、作業療法の専門知識と技術の修得を目指す、次のような人材を求めます。



- 自ら主体的に学ぼうとする学修意欲を有し、生涯にわたって作業療法の専門性を発揮しようとする意欲と行動力を有している。
- 多様性を尊重し、人の立場に立って物事を考えることができる想像力と共感性を有している。
- 柔軟性と協調性を有し、チームで課題解決に向けて行動できるコミュニケーション力と実践力を有している。
- 人の作業と健康の問題を理解し、問題解決に向けて臨機応変に対応できる基礎学力・理解力を有している。
- 高い倫理観を持ち、多様な価値観を受け入れができる柔軟性を有している。
- 多面的に物事を捉え、自分の考えを的確に表現できる力を有している。
- 作業療法に対する探求心を持ち、前向きに辛抱強く努力することができる力を有している。

